

第 6 回 豊岡市公営企業審議会

豊岡市上下水道部
2025年12月25日



審議会委員名簿 (2025. 11. 27現在)

(敬称略、五十音順)

氏 名	所 属	区 分
う え だ きょうぞう 上 田 恭 三	豊岡市区長連合会 理事	市 民
かめうち えいさく 瓶 内 栄 作	芸術文化観光専門職大学 芸術文化・観光学部准教授	学識経験者
しまさき え い こ 島 崎 栄 子	(一社) ちいきのて事務局長	市 民
た り ゆ か 田 里 有 香	税理士	市 民
つ づ き よういちろう 都 築 洋一郎	兵庫県立大学 国際商経学部准教授	学識経験者
なかやす よ し え 中 易 佳 恵	酒造業経営	市 民
なんば ま さ し 難 波 正	公益事業者 (豊岡エネルギー(株)代表取締役社長)	市 民
にしむら しょういち 西 村 昇 一	豊岡市商工会 専務理事	市 民
はしもと わ か こ 橋 本 和加子	スポーツ店経営	市 民
ひ ら の し ん じ 平 野 慎 二	豊岡商工会議所 副会頭	市 民

任期 : 2024. 6. 1 ~ 2026. 5. 31

TOYOOKA

【目 次】

- 1 現況報告
- 2 今後の収入見込
- 3 今後の事業費
- 4 下水道使用料体系の検討

1 現況報告

1 現況報告

1 長期収支見通し

収益的収支（百万円、税抜）		決算 R05	決算 R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
項目 / 年度		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
収益的収支	収入（収益）	5,276	4,913	5,145	5,167	4,988	4,935	4,964	4,692	4,422	4,260	4,166	4,131	4,120	4,094	4,075	4,065
	下水道使用料	1,498	1,505	1,477	1,466	1,453	1,440	1,427	1,414	1,401	1,389	1,376	1,363	1,349	1,336	1,323	1,309
	一般会計繰入金	2,371	2,022	2,469	2,468	2,327	2,260	2,267	1,966	1,681	1,484	1,353	1,285	1,254	1,227	1,204	1,189
	長期前受金戻入	1,399	1,376	1,184	1,222	1,198	1,224	1,258	1,301	1,329	1,376	1,425	1,473	1,506	1,520	1,536	1,556
	その他	7	10	15	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
	支出（費用）	4,590	4,607	4,332	4,225	4,192	4,210	4,280	4,376	4,448	4,566	4,690	4,824	4,904	4,945	5,002	5,064
	維持管理費等	1,071	1,097	1,133	981	994	967	974	981	988	996	1,005	1,024	1,022	1,030	1,039	1,048
	うち、非現金支出分	53	65	7	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	減価償却費	3,155	3,111	2,816	2,879	2,870	2,932	2,995	3,078	3,136	3,229	3,323	3,414	3,478	3,495	3,527	3,562
	支払利息	365	398	383	365	329	310	312	317	324	341	362	386	404	419	436	454
	単年度損益	685	307	813	942	796	726	684	316	△ 26	△ 306	△ 524	△ 692	△ 784	△ 851	△ 927	△ 999
	累積損益（利益処分後）	0	0	490	532	389	213	266	296	270	△ 36	△ 560	△ 1,252	△ 2,036	△ 2,887	△ 3,814	△ 4,813

資本的収支（百万円、税込）

項目 / 年度		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
資本的収支	収入	2,639	3,238	4,401	2,473	2,988	2,778	3,057	2,577	3,031	2,914	2,976	2,549	2,335	2,404	2,504	2,597
	企業債	1,931	2,112	2,710	1,735	1,828	1,554	1,591	1,291	1,499	1,422	1,458	1,273	1,164	1,198	1,248	1,295
	一般会計繰入金等	2	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国庫補助金	697	1,085	1,691	737	1,159	1,224	1,465	1,285	1,532	1,491	1,517	1,276	1,170	1,205	1,255	1,302
	その他	9	17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	支出	5,043	5,844	6,999	5,074	5,668	5,533	5,825	5,103	5,264	4,767	4,560	3,967	3,696	3,697	3,745	3,809
	建設改良費	1,331	2,114	3,340	1,559	2,284	2,352	2,843	2,536	3,002	2,896	2,965	2,546	2,334	2,404	2,503	2,597
	企業債償還金	3,712	3,730	3,659	3,515	3,384	3,182	2,982	2,567	2,262	1,872	1,595	1,422	1,362	1,293	1,242	1,212
	収支過不足額	△ 2,404	△ 2,606	△ 2,598	△ 2,601	△ 2,680	△ 2,755	△ 2,768	△ 2,527	△ 2,232	△ 1,854	△ 1,584	△ 1,418	△ 1,361	△ 1,293	△ 1,242	△ 1,212

補てん 財源	使用額	2,404	2,606	2,598	2,601	2,680	2,755	2,768	2,527	2,232	1,854	1,584	1,418	1,361	1,293	1,242	1,212
	翌年度繰越額	1,790	1,356	1,355	1,432	1,328	1,115	897	582	270	96	21	△ 27	△ 89	△ 144	△ 203	△ 285

企業債残高		39,391	37,781	36,838	35,063	33,511	31,886	30,498	29,223	28,461	28,012	27,875	27,726	27,528	27,433	27,439	27,522
現金預金残高		3,245	2,936	2,559	2,475	2,829	2,677	2,557	2,053	2,100	1,886	1,842	1,566	1,411	1,418	1,422	1,396

※端数処理の都合上、合計が一致していない場合がある。

1 現況報告

2 各試算の概要

算定方法 水道料金算定要領を準用する考え方

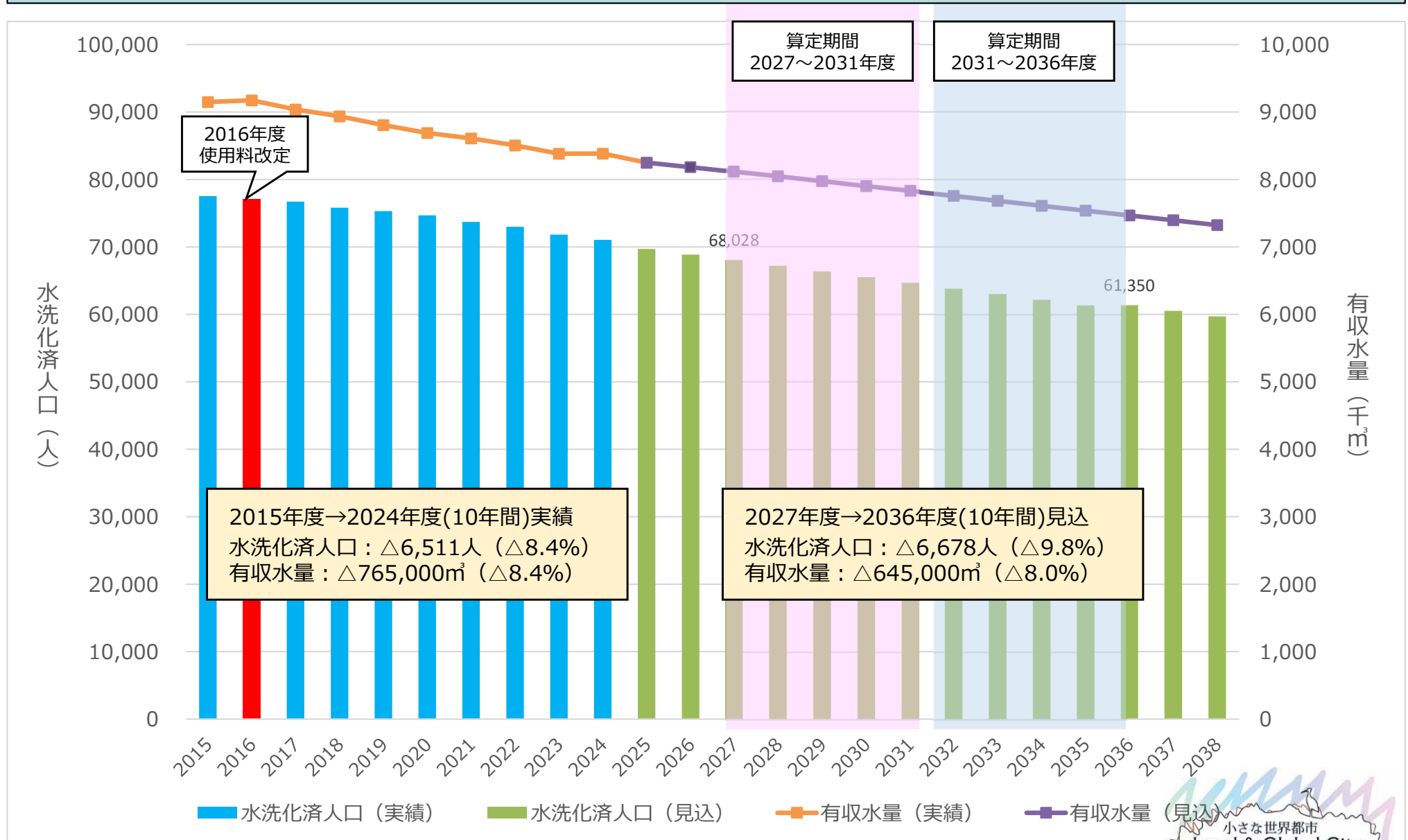
(単位：千円)

	算定期間 2027～2031	算定期間 2032～2036	算定期間 2027～2036
維持管理費 ①	4,666,927	4,844,372	9,511,299
資本費 ②	1,000,245	3,914,052	4,914,297
資産維持費 ③	860,470	860,470	1,720,940
使用料対象経費 (①+②+③)	6,527,642	9,618,894	16,146,536
現行使用料収入	7,135,334	6,812,143	13,947,476
有収水量 (m ³)	39,848,327	38,048,319	77,896,646
污水处理原価	163.8	252.8	207.3
使用料単価	179.1	179.0	179.1
経費回収率	109%	71%	86%
目標別平均改定率の算出			
改定目標	平均改定率	平均改定率	平均改定率
①経費回収率100%	0.0%	41.2%	15.8%
②使用料単価150円/m ³		△16.2%	

2 今後の収入見込

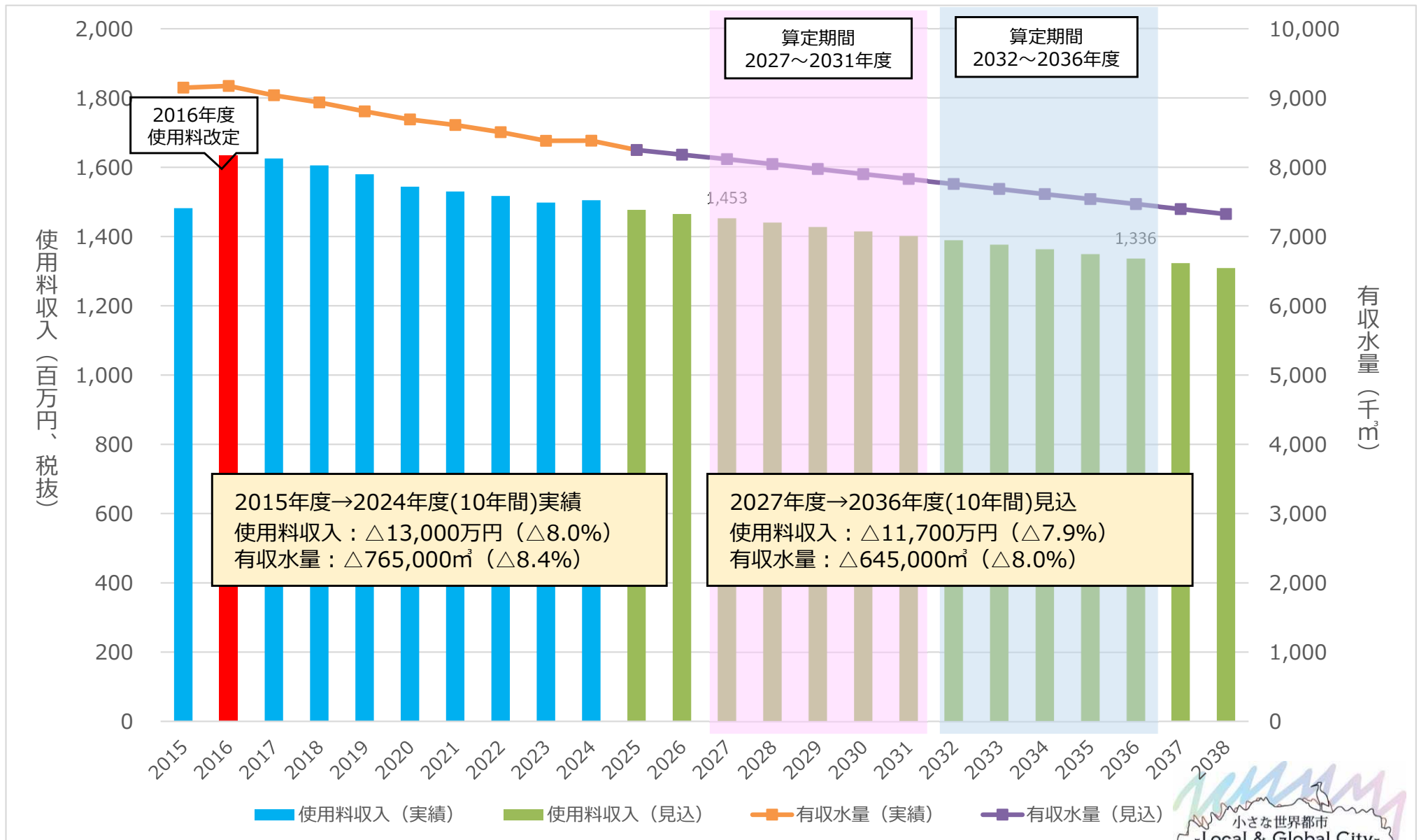
2 今後の収入見込

1 水洗化済人口と有収水量の推移と見込（2015～2038年度）



2 今後の収入見込

2 使用料収入と有収水量の推移と見込（2015～2038年度）



3 今後の事業費

3 今後の事業費

1 各事業の事業費

※第4回豊岡市公営企業審議会（2025.8.27）資料から抜粋

（単位：百万円）

	種別	施設名	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
			2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
建設改良費	統廃合事業	但東北、港等	522	472	220	199	12									
	長寿命化事業		2,040	2,032	1,927	1,978	2,358	2,141	2,671	2,236	1,227	2,302	2,210	2,265	2,215	2,220
	公共・特環	処理場														
		マンホールポンプ場	2,040	2,027	1,912	1,898	2,265	2,042	2,609	2,100	1,170	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
		管路														
	農集	処理場		5	15	80	93	81	52	76	47	42		5	15	20
	漁集	処理場						18	10	60	10	60	10	60		
	耐震化事業		0	45	15	52	201	170	109	247	723	67	7	22	75	100
	合計		2,562	2,549	2,162	2,229	2,571	2,311	2,780	2,483	1,950	2,369	2,217	2,287	2,290	2,320

※雨水事業は除く

2027-2031合計：12,053

2032-2036合計：11,306

2027-2036合計：23,359

◎主な固定資産の耐用年数 ※償却限度額を帳簿価格の95%に設定

- ☛ 管渠（構築物）：50年
- ☛ 処理場・マンホールポンプ場（機械及び装置）：20年



3 今後の事業費

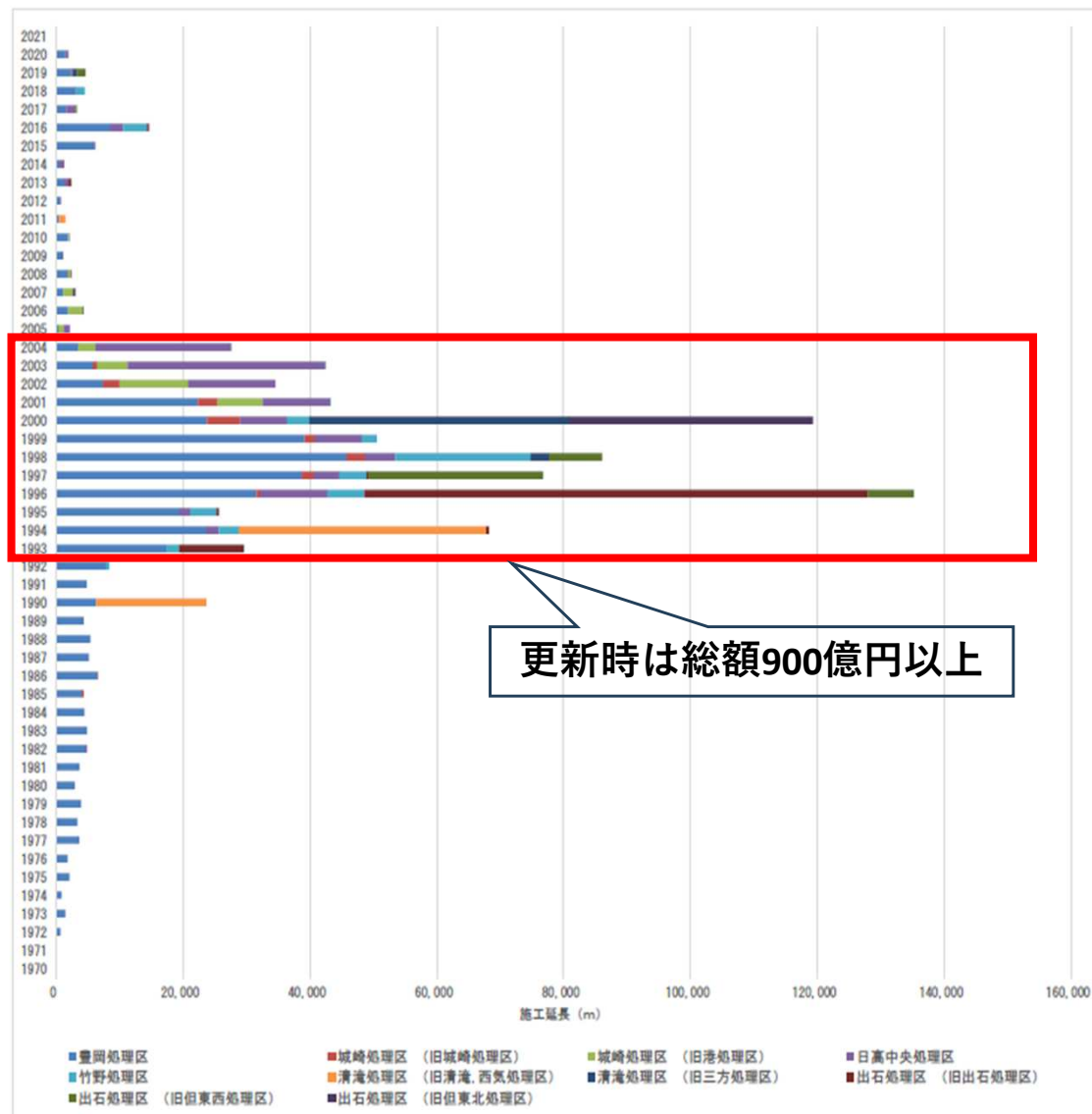
2 各事業（具体例）



3 今後の事業費

3 污水管渠の更新費

・ 污水管渠 施工年度別延長



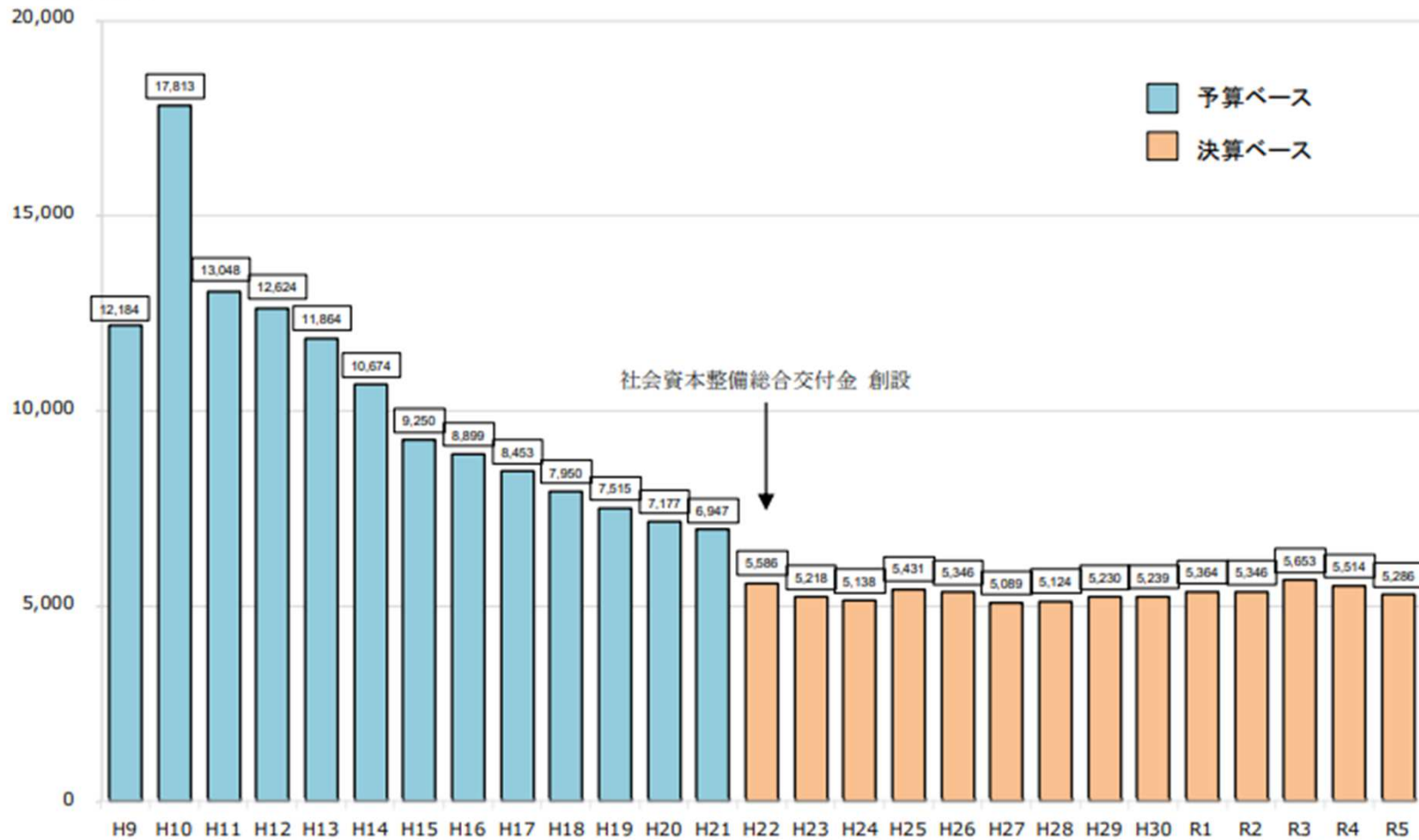
- ・ 污水管渠の管理延長 $L=970.7\text{km}$
- ・ 兵庫県が「生活排水99%大作戦」を1991(平成3)年度より展開
- ・ 豊岡市内の下水道管の布設年度も左図のとおり1993～2004年度に集中しており、**全体の約83%**を占める。
- ・ 管渠の耐用年数は50年であるため、老朽化率が今から18年後の2043年度には約11%、その後12年間で急激に上昇し、2054年度末には93%となる。
- ・ 赤枠部の建設費で約700億円であり、更新時の費用の総額は900億円以上になると想定される。

3 今後の事業費

4 下水道事業の補助金

下水道事業予算額等の推移

(単位:億円)



出典：令和7年度上下水道関係予算の概要（国土交通省 上下水道審議官グループ）

3 今後の事業費

5 今後の事業費

1. 国の補助金は5,000億円で推移
⇒ 更新事業の進捗は、建設時の1 / 3程度
2. 10年間で約230億円の事業費
⇒ 施設を適切に管理するうえでの最低ライン
3. 管渠の老朽化率は30年後には約93%となるが、耐用年数 ≠ 寿命。
適切に維持管理をしていけば、耐用年数50年以上の使用は可能。
4. 人口減少に伴う下水道事業区域及び下水処理方式の見直しなど
を見据えた経営改善の検討

4 下水道使用料体系の検討

4 下水道使用料体系の検討

1 使用料対象経費の分解

1 意義

Point !

- ☛ 使用料体系の設定は、個々の使用者の使用実態に応じて配分された個別原価に基づいて行う。
- ☛ この場合、使用料対象経費の分解と使用者群の区分を行い、それを基礎に使用料体系を設定することが合理的である。



- ☛ 使用料対象経費の分解は、使用料体系における基本使用料、従量使用料、累進使用料等を定める際の基準として用いるために経費をその性質にしたがって分解するものであり、個別原価に基づく使用料体系を設定するための前提の作業である。
- ☛ 一般的には、使用料対象経費は、需要家費、固定費及び変動費の3種類に分類される。

Point !

使用料対象経費の区分	概要
需要家費	☛ 下水道使用水量の多寡に関係なく主として <u>下水道使用者数に対応して増減する経費</u> であり、使用料徴収関係経費等がこれに当たる。
固定費	☛ 下水道使用水量及び使用者数の多寡に関係なく <u>下水道施設の規模に応じて固定的に必要とされる経費</u> であり、資本費、電力料金の基本料金、人件費の基本給部分等がこれに当たる。
変動費	☛ 主として <u>下水道使用水量の多寡に応じて変動する経費</u> であり、動力費の大部分、薬品費等がこれに当たる。

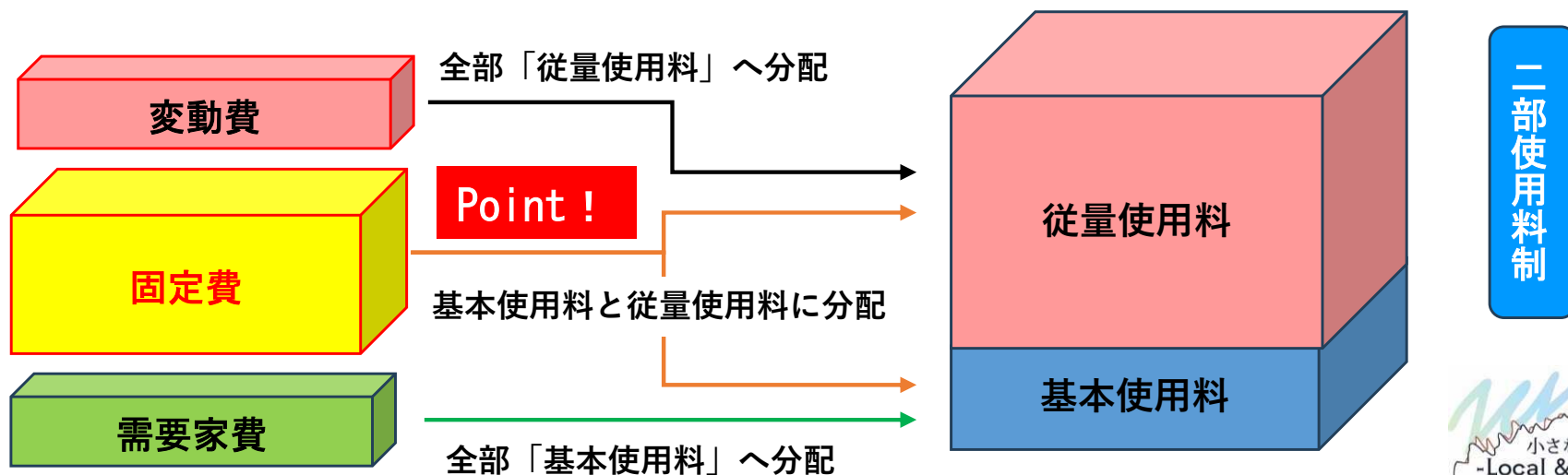
4 下水道使用料体系の検討

1 使用料対象経費の分解

2 対象となる経費の範囲

Point !

- 使用料対象経費のうち基本使用料として賦課するものは、基本的には需要家費及び固定費とするのが適用である。
- 施設型事業である下水道事業の特性により、使用料対象経費に占める固定費の割合が極めて大きいことから、固定費についてはその一部を基本使用料として賦課し、他は従量使用料として賦課するのが妥当である。
- 基本使用料として賦課する固定費の範囲については、各地方公共団体の排水需要の実態、下水道事業の実態等を勘案して定めるものとするが、事業の安定した収支の均衡を図る観点から十分に検討する必要がある。
- 従量使用料として賦課するものは、基本使用料として賦課するもの以外のすべての経費とし、使用料対象経費の分解に応じて水量区分ごとに配賦するものとする。



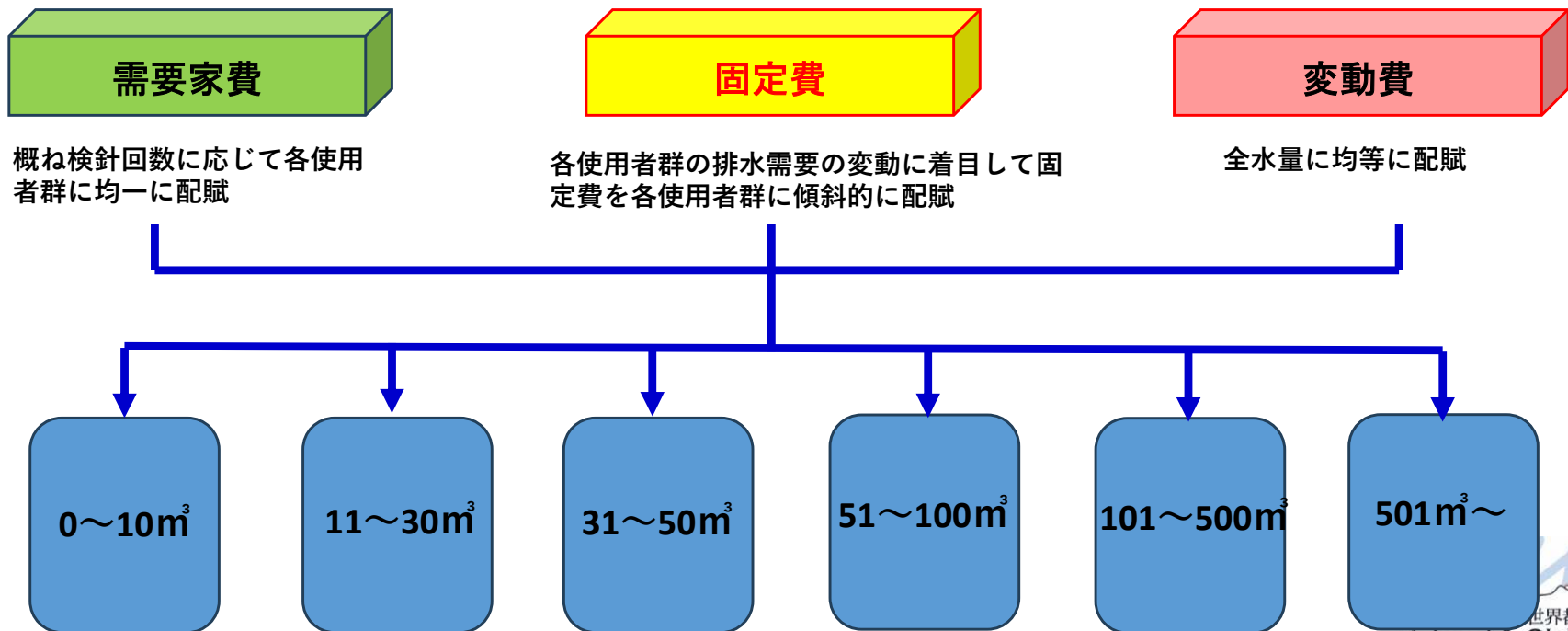
4 下水道使用料体系の検討

1 使用料対象経費の分解

3 使用料対象経費の配賦

3.1 経費別の配賦基準

- ☛ 使用料対象経費の分解基準に基づき分解した経費は、各々の経費の性質に応じた配賦基準により各使用者群へ配賦することとする。
- ☛ 具体的な配賦基準の設定は、各地方公共団体の排水の実態と、各々の経費の性質を十分に反映したものであることが必要である。

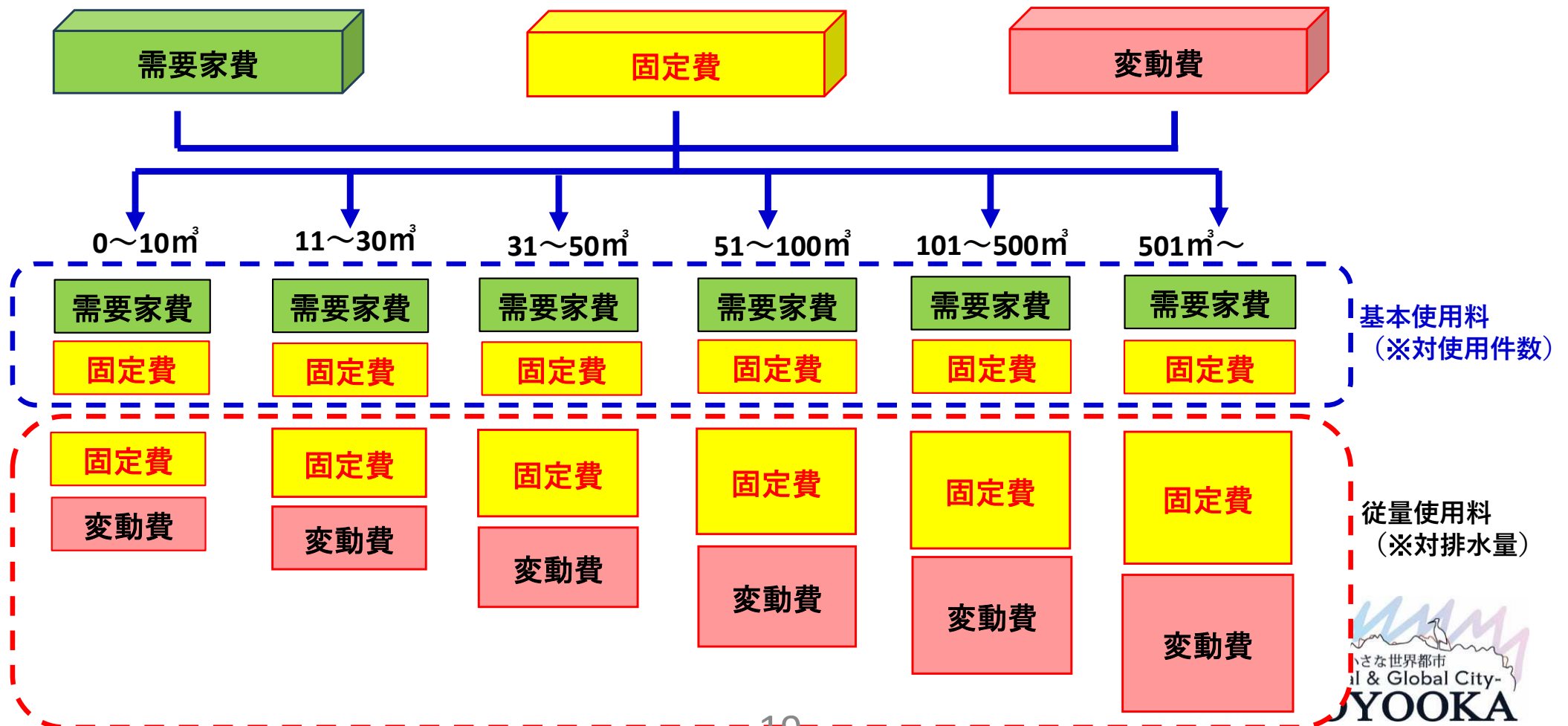


4 下水道使用料体系の検討

1 使用料対象経費の分解

3 使用料対象経費の配賦

3.2 使用料算定に係る使用料対象経費の配賦イメージ



4 下水道使用料体系の検討

1 使用料対象経費の分解

4 対象となる経費の内訳（2027～2036年度）

（単位：千円）

	経費	長期前 受金戻入	その他を控除する前の使用料対象経費			
				需要家費	固定費	変動費
資本費	35,855,453	13,828,488	22,026,965	0	22,026,965	0
減価償却費	32,284,535	13,828,488	18,456,047		18,456,047	
支払利息	3,570,918		3,570,918		3,570,918	
維持管理費	9,683,788		9,683,788	600,000	7,416,172	1,667,616
職員給与費	961,884		961,884		933,579	28,305
動力費	1,693,040		1,693,040		846,520	846,520
修繕費	983,382		983,382		491,691	491,691
材料費	4,650		4,650		2,325	2,325
薬品費	293,731		293,731			293,731
委託料	4,412,228		4,412,228	0	4,412,228	0
その他	1,334,873		1,334,873	600,000	729,829	5,044
資産維持費	1,720,940		1,720,940		1,720,940	
合計	47,260,181	13,828,488	33,431,693	600,000	31,164,077	1,667,616
その他の控除			17,285,157		17,285,157	
控除後の使用料対象経費			16,146,536	600,000	13,878,920	1,667,616

※下水道使用料算定の基本的な考え方（2016年度版）（公益社団法人日本下水道協会）の経費分解基準を引用

$$\begin{aligned}
 \text{※ 使用料改定率} &= \text{使用料対象経費：16,146,536} \div \text{使用料収入：13,947,476} \\
 &= 1.1576 \Rightarrow \text{約15.8\%}
 \end{aligned}$$



4 下水道使用料体系の検討

1 使用料対象経費の分解

5 使用料対象経費の配賦（2027～2036年度）

5.1 需要家費

検針件数に応じて配賦した需要家費を調定件数で除し、1件当たりの需要家費を算定する。

水量区分 (m ³ /月)	検針 頻度	調定件数 (件)	検針件数 (回)	需要家費の配賦額 (千円)	1件当たりの需要家費 (円)
0 ～ 10	年6回	1,311,053	655,526	219,180	167.18
11 ～ 20	年6回	1,078,571	539,286	180,314	
21 ～ 30	年6回	711,987	355,993	119,029	
31 ～ 50	年6回	384,804	192,402	64,331	
51 ～ 100	年6回	80,700	40,350	13,491	
101 ～ 500	年6回	15,022	7,511	2,511	
501 ～	年6回	6,838	3,419	1,143	
計		3,588,975	1,794,488	600,000	

4 下水道使用料体系の検討

1 使用料対象経費の分解

5 使用料対象経費の配賦

5.2 固定費

固定費のうち、30％は調定件数に応じて使用者に均一に配賦し、70％は使用水量に応じて配賦する。

◎固定費（基本使用料部分）の配賦

（単位：千円）

水量区分	固定費		合計額
	資本費	維持管理費	
0 ～ 10 m ³ /月	727,156	793,835	1,520,991
11 ～ 20 m ³ /月	598,213	653,069	1,251,283
21 ～ 30 m ³ /月	394,893	431,104	825,997
31 ～ 50 m ³ /月	213,426	232,997	446,423
51 ～ 100 m ³ /月	44,759	48,864	93,623
101 ～ 500 m ³ /月	8,332	9,096	17,427
501 ～ m ³ /月	3,793	4,140	7,933
計	1,990,571	2,173,105	4,163,676

◎固定費（従量使用料部分）の配賦

（単位：千円）

水量区分	固定費		合計額
	資本費	維持管理費	
0 ～ 10 m ³ /月	338,116	415,145	753,261
11 ～ 20 m ³ /月	976,416	1,141,771	2,118,188
21 ～ 30 m ³ /月	1,007,739	1,178,399	2,186,139
31 ～ 50 m ³ /月	881,276	983,678	1,864,954
51 ～ 100 m ³ /月	349,583	357,687	707,270
101 ～ 500 m ³ /月	542,666	512,534	1,055,200
501 ～ m ³ /月	548,868	481,364	1,030,232
計	4,644,666	5,070,578	9,715,244

※下水道使用料算定の基本的な考え方（2016年度版）（公益社団法人日本下水道協会）の算定例を引用

4 下水道使用料体系の検討

1 使用料対象経費の分解

5 使用料対象経費の配賦

5.3 変動費

各使用者群の水量に応じて均一に配賦する。

$$\begin{aligned}\text{変動費単価} &= \text{変動費合計額} \div \text{水量合計} \\ &= 1,667,616 \text{千円} \div 76,099,252 \text{m}^3 \\ &= 21.91 \text{円/m}^3\end{aligned}$$

4 下水道使用料体系の検討

1 使用料対象経費の分解

5 使用料対象経費の配賦

5.4 各使用者群への配賦結果

(単位：千円、円/m³)

水量区分		需要家費	固定費		変動費	合計
			基本使用料部分 (30%)	従量使用料部分 (70%)		
0 ～ 10 m ³ /月	@	167.18 219,182	1,160.13 1,520,991	120.90 753,261	21.91 136,551	422.11 2,629,985
11 ～ 20 m ³ /月	@	167.18 180,314	1,160.13 1,251,283	123.61 2,118,188	21.91 375,483	229.07 3,925,268
21 ～ 30 m ³ /月	@	167.18 119,030	1,160.13 825,997	123.61 2,186,139	21.91 387,528	198.96 3,518,693
31 ～ 50 m ³ /月	@	167.18 64,332	1,160.13 446,423	126.33 1,864,954	21.91 323,498	182.84 2,699,207
51 ～ 100 m ³ /月	@	167.18 13,492	1,160.13 93,623	131.75 707,270	21.91 117,657	173.62 932,041
101 ～ 500 m ³ /月	@	167.18 2,511	1,160.05 17,426	137.18 1,055,200	21.91 168,574	161.69 1,243,709
501 ～ m ³ /月	@	167.18 1,143	1,160.14 7,933	142.61 1,030,232	21.91 158,325	165.78 1,197,633
計	@	① 167.18 600,000	② 1,160.13 4,163,676	③ 123.67 9,715,244	④ 21.91 1,667,616	212.18 16,146,536

均一基本使用料単価 (①+②)

1,327円/件

均一従量使用料単価 (③+④)

146円/m³

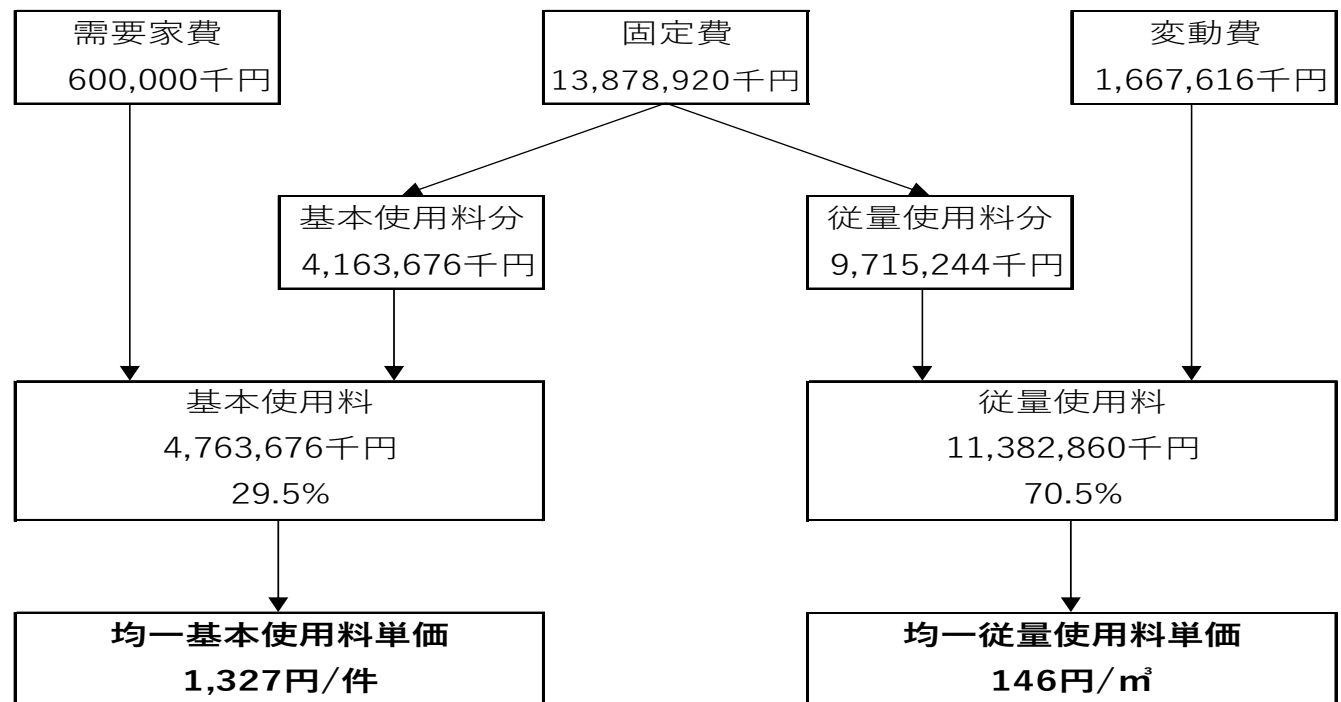
TOYOOKA

4 下水道使用料体系の検討

1 使用料対象経費の分解

6 使用料対象経費の配賦図（フローチャート）

	基本使用料分	従量使用料分
固定費配賦割合	30.0%	70.0%



	基本使用料分	従量使用料分
使用料構成割合	29.5%	70.5%
原価の構成	4,763,676千円	11,382,860千円
均一単価	1,327円/件	146円/m³

※現在は基本使用料分15%：従量使用料分85%

4 下水道使用料体系の検討

2 料率の設定

1 排水需要の予測

使用料対象水量 ($\text{m}^3/\text{月}$)	2027年度～2036年度		水量区分ごとの 使用水量 (m^3)	1件当たり水量 ($\text{m}^3/\text{件}$)
	件数 (件)	水量 (m^3)		
0 ～ 10	1,311,053	6,230,494	29,275,279	4.75
11 ～ 20	1,078,571	17,135,710	18,696,582	15.89
21 ～ 30	711,987	17,685,418	8,542,246	24.84
31 ～ 50	384,804	14,763,038	5,380,847	38.37
51 ～ 100	80,700	5,368,166	2,326,557	66.52
101 ～ 500	15,022	6,225,983	8,534,457	414.46
501 ～	6,838	8,690,443	3,343,284	1,270.91
計	3,588,975	76,099,252	76,099,252	21.20

4 下水道使用料体系の検討

2 料率の設定

2 改定料率表

(税抜)

水量区分 (m ³ /月)	現行①			改定②			改定率 (②/①)
	基本使用料		600円	基本使用料		1,327円	
0 ~ 10	従 量 使 用 料	1 m ³ 当たり	80円	従 量 使 用 料	1 m ³ 当たり	144円	180%
11 ~ 20		〃	170円		〃	147円	86%
21 ~ 30		〃	170円		〃	149円	87%
31 ~ 50		〃	195円		〃	183円	94%
51 ~ 100		〃	220円		〃	170円	77%
101 ~ 500		〃	245円		〃	164円	67%
501 ~		〃	260円		〃	164円	63%

4 下水道使用料体系の検討

【参考1】 近隣市町の基本使用料

(単位 円・税抜き)

市 町 名	基 本 使 用 料		基本水量	使用水量 0m ³ 時の使用料	
		豊岡市との比較			豊岡市との比較
豊 岡 市 [現 行]	1,400 ^{*1}		なし	600	
養 父 市	1,715	+ 315	10m ³	1,715	+ 1,115
朝 来 市	1,429	+ 29	10m ³	1,429	+ 829
香 美 町	1,800	+ 400	10m ³	1,800	+ 1,200
新 温 泉 町	1,500	+ 100	10m ³	1,500	+ 900
丹 波 市	2,675 ^{*2}	+ 1,275	5m ³	2,100	+ 1,500
丹 波 篠 山 市	1,200 ^{*3}	△ 200	8m ³	900	+ 300

* 1 豊岡市は基本使用料(600円)に基本水量を付していないが、他団体との比較のため、10m³使用時の使用料を記載している。

* 2 丹波市は基本使用料(2,100円)の基本水量は5m³であるが、他団体との比較のため、10m³使用時の使用料を記載している。

* 3 丹波篠山市は基本使用料(900円)の基本水量は8m³であるが、他団体との比較のため、10m³使用時の使用料を記載している。

4 下水道使用料体系の検討

【参考２－１】 前回改定以降の兵庫県内における改定実績

年 度	2016 (H28)	2016 (H28)	2016 (H28)	2017 (H29)	2019 (R1)	2020 (R2)	2020 (R2)
市町名	豊岡市	宝塚市	小野市	姫路市	たつの市	神戸市	丹波市
改定率	11.3%	18.5%	15.0%	9.8%	20.0%	1.9%	1.3%
年 度	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2025 (R7)	2025 (R7)
市町名	三田市	相生市	太子町	小野市	姫路市	たつの市	淡路市
改定率	29.4%	11.9%	18.7%	10.0%	15.8%	20.0%	13.0%

出典：総務省・小野市・姫路市・たつの市・淡路市の各々HP

4 下水道使用料体系の検討

【参考2－2】 2025（R7）年度に改定した兵庫県内自治体の概要

市 名	処理区域面積(k㎡)		処理区域内人口(人)		処理区域内人口1人当たりの管渠の長さ(m)	
		豊岡市との比較		豊岡市との比較		豊岡市との比較
豊 岡 市	30.1		75,478		13.33	
姫 路 市	111.2	+ 81.1	497,630	+ 422,152	6.13	△ 7.20
た つ の 市	38.1	+ 8.0	70,465	△ 5,013	11.99	△ 1.34
淡 路 市	15.4	△ 14.7	26,876	△ 48,602	13.59	+ 0.26

◎下水道使用料改定の目的

■ 姫路市

水需要減少に伴う下水道使用料の減収や、更新費用の増加による財源確保の改善。
水道料金も同機で12.1%の改定。

■ たつの市

公費に頼っている経営状態の改善に加え、人口減少等による収入減少に対応。

■ 淡路市

汚水処理費の約50%しか賄えていない下水道使用料の改定。

4 下水道使用料体系の検討

【参考3】 近隣市町の累進度

使用量の増加に応じて使用料単価が高くなる体系であり、水量区分ごとの使用料単価の最小のものに対する倍率のことである。

(単位 円・税抜き)

市 町 名	基 本 使 用 料		最 高 使 用 料 単 価		累 進 度
		m ³ あたり単価	区 分	m ³ あたり単価	
豊 岡 市 [現 行]	1,400 ^{*1}	140.0	500m ³ を超える分	260.0	1.85
養 父 市	1,715	171.5	80m ³ を超える分	255.0	1.49
朝 来 市	1,429	142.9	50m ³ を超える分	162.0	1.13
香 美 町	1,800	180.0	500m ³ を超える分	260.0	1.44
新 温 泉 町	1,500	150.0	100m ³ を超える分	220.0	1.46
丹 波 市	2,675 ^{*2}	267.5	80m ³ を超える分	215.0	0.80
丹 波 篠 山 市	1,200 ^{*3}	112.0	100m ³ を超える分	190.0	1.68

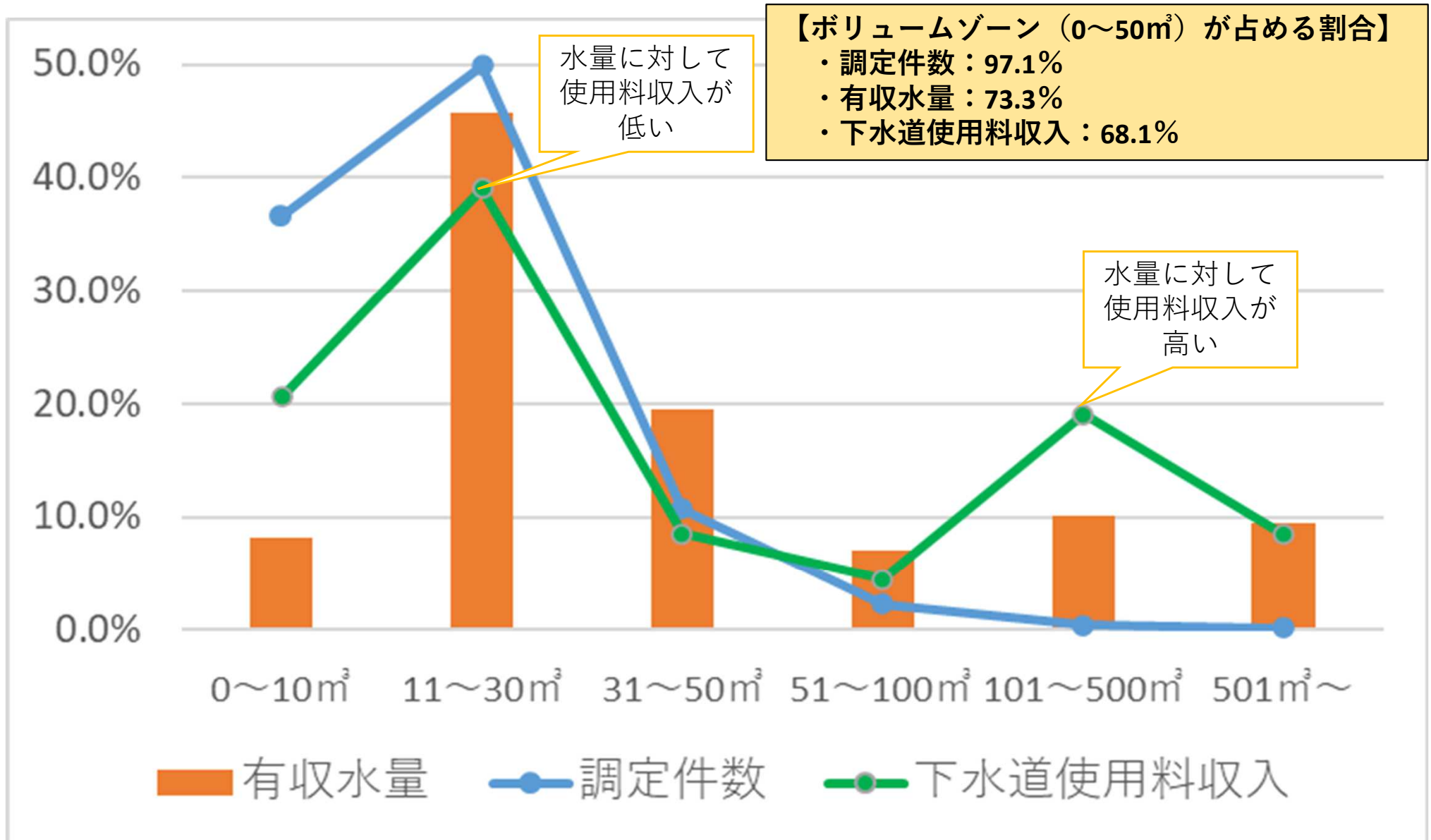
* 1 豊岡市は基本使用料(600円)に基本水量を付していないが、他団体との比較のため、10m³使用時の使用料を記載している。

* 2 丹波市は基本使用料(2,100円)の基本水量は5m³であるが、他団体との比較のため、10m³使用時の使用料を記載している。

* 3 丹波篠山市は基本使用料(900円)の基本水量は8m³であるが、他団体との比較のため、10m³使用時の使用料を記載している。

4 下水道使用料体系の検討

【参考 4】 調定件数・有収水量・下水道使用料収入の割合（2024年度実績）



4 下水道使用料体系の検討

【参考5】 使用料の計算方法（現行使用料での計算例）

【単位：円（税抜）】

区 分		単価	水量5m ³	水量20m ³	水量40m ³	水量700m ³
基本使用料 ①		600	600	600	600	600
従量 使用料	10m ³ まで	80	$5 \times 80 = 400$	$10 \times 80 = 800$	$10 \times 80 = 800$	$10 \times 80 = 400$
	10m ³ を超え30m ³ まで	170		$10 \times 170 = 1,700$	$20 \times 170 = 3,400$	$20 \times 170 = 3,400$
	30m ³ を超え50m ³ まで	195			$10 \times 195 = 1,950$	$20 \times 195 = 3,900$
	50m ³ を超え100m ³ まで	220				$50 \times 220 = 11,000$
	100m ³ を超え500m ³ まで	245				$400 \times 245 = 98,000$
	500m ³ を超える分	260				$200 \times 260 = 52,000$
	従量使用料 計 ②		400	2,500	6,150	168,700
基本＋従量使用料 ①＋②			1,000	3,100	6,750	169,300
消費税(10%)			100	310	675	16,930
使用料合計			1,100	3,410	7,425	186,230

4 下水道使用料体系の検討

3-1 【案1】下水道使用料表・使用水量別使用料

◎改定の考え方

使用料対象経費の配賦結果である基本使用料：1,327円（税抜）を基本とし、1円単位を端数調整。従量使用料は変えずに、基本使用料のみの改定とする。

- ⇒ ・基本使用料のみ2.2倍の792円（税込）上がり、改定率が18.5%となる。
 ・20m³/月使用した場合、792円（税込）の値上がりとなる。
 ・使用料収入は16,587,258千円となる。

区 分		現 行	(円(税込)・%)	
			案 1	
			18.5%	
			改定案	比較(額) " (率)
基本使用料		660	1,452	792 220.0%
従量使用料	10m ³ まで	88.0	88.0	0 100.0%
	10m ³ を超え 30m ³ まで	187.0	187.0	0 100.0%
	30m ³ を超え 50m ³ まで	214.5	214.5	0 100.0%
	50m ³ を超え 100m ³ まで	242.0	242.0	0 100.0%
	100m ³ を超え 500m ³ まで	269.5	269.5	0 100.0%
	500m ³ を 超える分	286.0	286.0	0 100.0%

水量 (m ³)	現 行 使用料 ① (円)	(税込)		
		改定案 使用料 ② (円)	案 1 18.5%	
			比 較	
			金 額 ②－① (円)	率 ②／① (%)
0	660	1,452	792	220.00%
5	1,100	1,892	792	172.00%
10	1,540	2,332	792	151.43%
20	3,410	4,202	792	123.23%
30	5,280	6,072	792	115.00%
40	7,425	8,217	792	110.67%
50	9,570	10,362	792	108.28%
100	21,670	22,462	792	103.65%
500	129,470	130,262	792	100.61%
1,000	272,470	273,262	792	100.29%
5,000	1,416,470	1,417,262	792	100.06%
10,000	2,846,470	2,847,262	792	100.03%

4 下水道使用料体系の検討

3-2 長期収支見通し ※改定率：18.5%

収益的収支（百万円、税抜）		決算 R05	決算 R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
項目	／ 年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
収益的収支	収入（収益）	5,276	4,913	5,145	5,167	5,263	5,208	5,234	4,960	4,688	4,523	4,426	4,389	4,376	4,347	4,325	4,313
	下水道使用料	1,498	1,505	1,477	1,466	1,728	1,713	1,697	1,682	1,667	1,652	1,636	1,620	1,605	1,589	1,573	1,557
	一般会計繰入金	2,371	2,022	2,469	2,468	2,327	2,260	2,267	1,966	1,681	1,484	1,353	1,285	1,254	1,227	1,204	1,189
	長期前受金戻入	1,399	1,376	1,184	1,222	1,198	1,224	1,258	1,301	1,329	1,376	1,425	1,473	1,506	1,520	1,536	1,556
	その他	7	10	15	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
	支出（費用）	4,590	4,607	4,332	4,225	4,192	4,210	4,280	4,376	4,448	4,566	4,690	4,824	4,904	4,945	5,002	5,064
	維持管理費等	1,071	1,097	1,133	981	994	967	974	981	988	996	1,005	1,024	1,022	1,030	1,039	1,048
	うち、非現金支出分	53	65	7	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	減価償却費	3,155	3,111	2,816	2,879	2,870	2,932	2,995	3,078	3,136	3,229	3,323	3,414	3,478	3,495	3,527	3,562
	支払利息	365	398	383	365	329	310	312	317	324	341	362	386	404	419	436	454
単年度損益		685	307	813	942	1,071	998	954	583	239	△ 43	△ 264	△ 434	△ 528	△ 598	△ 677	△ 751
累積損益（利益処分後）		0	0	490	532	664	761	1,084	1,381	1,620	1,577	1,314	879	351	△ 247	△ 924	△ 1,675

資本的収支（百万円、税込）

項目	／ 年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
資本的収支	収入	2,639	3,238	4,401	2,473	2,988	2,778	3,057	2,577	3,031	2,914	2,976	2,549	2,335	2,404	2,504	2,597
	企業債	1,931	2,112	2,710	1,735	1,828	1,554	1,591	1,291	1,499	1,422	1,458	1,273	1,164	1,198	1,248	1,295
	一般会計繰入金等	2	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国庫補助金	697	1,085	1,691	737	1,159	1,224	1,465	1,285	1,532	1,491	1,517	1,276	1,170	1,205	1,255	1,302
	その他	9	17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	支出	5,043	5,844	6,999	5,074	5,668	5,533	5,825	5,103	5,264	4,767	4,560	3,967	3,696	3,697	3,745	3,809
	建設改良費	1,331	2,114	3,340	1,559	2,284	2,352	2,843	2,536	3,002	2,896	2,965	2,546	2,334	2,404	2,503	2,597
	企業債償還金	3,712	3,730	3,659	3,515	3,384	3,182	2,982	2,567	2,262	1,872	1,595	1,422	1,362	1,293	1,242	1,212
	収支過不足額	△ 2,404	△ 2,606	△ 2,598	△ 2,601	△ 2,680	△ 2,755	△ 2,768	△ 2,527	△ 2,232	△ 1,854	△ 1,584	△ 1,418	△ 1,361	△ 1,293	△ 1,242	△ 1,212

補てん財源	使用額	2,404	2,606	2,598	2,601	2,680	2,755	2,768	2,527	2,232	1,854	1,584	1,418	1,361	1,293	1,242	1,212
	翌年度繰越額	1,790	1,356	1,355	1,432	1,603	1,662	1,715	1,667	1,620	1,709	1,895	2,105	2,298	2,496	2,687	2,853

企業債残高	39,391	37,781	36,838	35,063	33,511	31,886	30,498	29,223	28,461	28,012	27,875	27,726	27,528	27,433	27,439	27,522
現金預金残高	3,245	2,936	2,559	2,475	3,103	3,225	3,375	3,138	3,450	3,500	3,716	3,697	3,798	4,057	4,312	4,534

※端数処理の都合上、合計が一致していない場合がある。

4 下水道使用料体系の検討

4-1 【案2】下水道使用料表・使用水量別使用料

◎改定の考え方

基本使用料を2.0倍の1,320円（税込）とし、「10m³まで」の水量区分のみ改定する。

- ⇒ ・「10m³まで」の水量区分が5.5円上がり、改定率が16.5%となる。
 ・20m³/月使用した場合、715円（税込）の値上がりとなる。
 ・使用料収入は16,297,559千円となる。

		(円(税込)・%)	
区 分		案 2	
		16.5%	
		改定案	比較(額) " (率)
基本使用料		660	660 200.0%
従量使用料	10m ³ まで	88.0	93.5 106.3%
	10m ³ を超え 30m ³ まで	187.0	187.0 100.0%
	30m ³ を超え 50m ³ まで	214.5	214.5 100.0%
	50m ³ を超え 100m ³ まで	242.0	242.0 100.0%
	100m ³ を超え 500m ³ まで	269.5	269.5 100.0%
	500m ³ を 超える分	286.0	286.0 100.0%

		(税込)		
水量 (m ³)	現 行 使用料 ① (円)	案 2 16.5%		
		改定案 使用料 ② (円)	比 較	
			金 額 ②－① (円)	率 ②／① (%)
0	660	1,320	660	200.00%
5	1,100	1,787	687	162.45%
10	1,540	2,255	715	146.43%
20	3,410	4,125	715	120.97%
30	5,280	5,995	715	113.54%
40	7,425	8,140	715	109.63%
50	9,570	10,285	715	107.47%
100	21,670	22,385	715	103.30%
500	129,470	130,185	715	100.55%
1,000	272,470	273,185	715	100.26%
5,000	1,416,470	1,417,185	715	100.05%
10,000	2,846,470	2,847,185	715	100.03%

4 下水道使用料体系の検討

4-2 長期収支見通し ※改定率：16.5%

収益的収支（百万円、税抜）		決算 R05	決算 R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
項目 / 年度		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
収益的 収支	収入（収益）	5,276	4,913	5,145	5,167	5,233	5,178	5,204	4,930	4,659	4,494	4,397	4,361	4,348	4,319	4,297	4,286
	下水道使用料	1,498	1,505	1,477	1,466	1,697	1,683	1,668	1,652	1,638	1,623	1,608	1,592	1,576	1,561	1,545	1,530
	一般会計繰入金	2,371	2,022	2,469	2,468	2,327	2,260	2,267	1,966	1,681	1,484	1,353	1,285	1,254	1,227	1,204	1,189
	長期前受金戻入	1,399	1,376	1,184	1,222	1,198	1,224	1,258	1,301	1,329	1,376	1,425	1,473	1,506	1,520	1,536	1,556
	その他	7	10	15	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
	支出（費用）	4,590	4,607	4,332	4,225	4,192	4,210	4,280	4,376	4,448	4,566	4,690	4,824	4,904	4,945	5,002	5,064
	維持管理費等	1,071	1,097	1,133	981	994	967	974	981	988	996	1,005	1,024	1,022	1,030	1,039	1,048
	うち、非現金支出分	53	65	7	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	減価償却費	3,155	3,111	2,816	2,879	2,870	2,932	2,995	3,078	3,136	3,229	3,323	3,414	3,478	3,495	3,527	3,562
	支払利息	365	398	383	365	329	310	312	317	324	341	362	386	404	419	436	454
	単年度損益	685	307	813	942	1,041	968	924	554	210	△ 72	△ 292	△ 463	△ 556	△ 626	△ 704	△ 778
	累積損益（利益処分後）	0	0	490	532	634	701	994	1,262	1,472	1,400	1,108	645	89	△ 537	△ 1,241	△ 2,019

資本的収支（百万円、税込）

項目 / 年度		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
資本的 収支	収入	2,639	3,238	4,401	2,473	2,988	2,778	3,057	2,577	3,031	2,914	2,976	2,549	2,335	2,404	2,504	2,597
	企業債	1,931	2,112	2,710	1,735	1,828	1,554	1,591	1,291	1,499	1,422	1,458	1,273	1,164	1,198	1,248	1,295
	一般会計繰入金等	2	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国庫補助金	697	1,085	1,691	737	1,159	1,224	1,465	1,285	1,532	1,491	1,517	1,276	1,170	1,205	1,255	1,302
	その他	9	17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	支出	5,043	5,844	6,999	5,074	5,668	5,533	5,825	5,103	5,264	4,767	4,560	3,967	3,696	3,697	3,745	3,809
	建設改良費	1,331	2,114	3,340	1,559	2,284	2,352	2,843	2,536	3,002	2,896	2,965	2,546	2,334	2,404	2,503	2,597
	企業債償還金	3,712	3,730	3,659	3,515	3,384	3,182	2,982	2,567	2,262	1,872	1,595	1,422	1,362	1,293	1,242	1,212
	収支過不足額	△ 2,404	△ 2,606	△ 2,598	△ 2,601	△ 2,680	△ 2,755	△ 2,768	△ 2,527	△ 2,232	△ 1,854	△ 1,584	△ 1,418	△ 1,361	△ 1,293	△ 1,242	△ 1,212

補てん財源	使用額	2,404	2,606	2,598	2,601	2,680	2,755	2,768	2,527	2,232	1,854	1,584	1,418	1,361	1,293	1,242	1,212
	翌年度繰越額	1,790	1,356	1,355	1,432	1,573	1,602	1,625	1,548	1,472	1,532	1,689	1,871	2,036	2,207	2,370	2,509

企業債残高	39,391	37,781	36,838	35,063	33,511	31,886	30,498	29,223	28,461	28,012	27,875	27,726	27,528	27,433	27,439	27,522
現金預金残高	3,245	2,936	2,559	2,475	3,073	3,165	3,285	3,019	3,302	3,323	3,510	3,464	3,536	3,768	3,995	4,189

※端数処理の都合上、合計が一致していない場合がある。

4 下水道使用料体系の検討

5-1 【案3】下水道使用料表・使用水量別使用料

◎改定の考え方

基本使用料を1,000円（税込）以下とし、「10m³まで」及び「10m³を超え30m³まで」の水量区分を改定する。

- ⇒ ・「10m³まで」の水量区分が33.0円（税込）上がり、「10m³を超え30m³まで」の水量区分が11.0円（税込）上がり、改定率が16.0%となる。
 ・20m³/月使用した場合、770円（税込）の値上がりとなる。
 ・使用料収入は16,223,329千円となる。

		(円(税込)・%)	
区 分		案 3	
		16.0%	
		改定案	比較(額) " (率)
基本使用料		660	990 330 150.0%
従量使用料	10m ³ まで	88.0	121.0 33 137.5%
	10m ³ を超え 30m ³ まで	187.0	198.0 11 105.9%
	30m ³ を超え 50m ³ まで	214.5	214.5 0 100.0%
	50m ³ を超え 100m ³ まで	242.0	242.0 0 100.0%
	100m ³ を超え 500m ³ まで	269.5	269.5 0 100.0%
	500m ³ を 超える分	286.0	286.0 0 100.0%

(税込)				
水量 (m ³)	現 行 使用料 ① (円)	案 3 16.0%		
		改定案 使用料 ② (円)	比 較	
			金 額 ②－① (円)	率 ②／① (%)
0	660	990	330	150.00%
5	1,100	1,595	495	145.00%
10	1,540	2,200	660	142.86%
20	3,410	4,180	770	122.58%
30	5,280	6,160	880	116.67%
40	7,425	8,305	880	111.85%
50	9,570	10,450	880	109.20%
100	21,670	22,550	880	104.06%
500	129,470	130,350	880	100.68%
1,000	272,470	273,350	880	100.32%
5,000	1,416,470	1,417,350	880	100.06%
10,000	2,846,470	2,847,350	880	100.03%

4 下水道使用料体系の検討

5-2 長期収支見通し ※改定率：16.0%

収益的収支（百万円、税抜）		決算 R05	決算 R06	R07	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20
項目	／ 年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
収益的収支	収入（収益）	5,276	4,913	5,145	5,167	5,226	5,170	5,197	4,923	4,651	4,487	4,390	4,354	4,341	4,312	4,290	4,279
	下水道使用料	1,498	1,505	1,477	1,466	1,690	1,675	1,660	1,645	1,630	1,615	1,600	1,585	1,569	1,554	1,538	1,523
	一般会計繰入金	2,371	2,022	2,469	2,468	2,327	2,260	2,267	1,966	1,681	1,484	1,353	1,285	1,254	1,227	1,204	1,189
	長期前受金戻入	1,399	1,376	1,184	1,222	1,198	1,224	1,258	1,301	1,329	1,376	1,425	1,473	1,506	1,520	1,536	1,556
	その他	7	10	15	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
	支出（費用）	4,590	4,607	4,332	4,225	4,192	4,210	4,280	4,376	4,448	4,566	4,690	4,824	4,904	4,945	5,002	5,064
	維持管理費等	1,071	1,097	1,133	981	994	967	974	981	988	996	1,005	1,024	1,022	1,030	1,039	1,048
	うち、非現金支出分	53	65	7	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	減価償却費	3,155	3,111	2,816	2,879	2,870	2,932	2,995	3,078	3,136	3,229	3,323	3,414	3,478	3,495	3,527	3,562
	支払利息	365	398	383	365	329	310	312	317	324	341	362	386	404	419	436	454
単年度損益		685	307	813	942	1,033	961	916	547	203	△ 79	△ 300	△ 470	△ 564	△ 633	△ 711	△ 785
累積損益（利益処分後）		0	0	490	532	626	685	971	1,231	1,434	1,355	1,055	585	22	△ 611	△ 1,323	△ 2,108

資本的収支（百万円、税込）

項目	／ 年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038
資本的収支	収入	2,639	3,238	4,401	2,473	2,988	2,778	3,057	2,577	3,031	2,914	2,976	2,549	2,335	2,404	2,504	2,597
	企業債	1,931	2,112	2,710	1,735	1,828	1,554	1,591	1,291	1,499	1,422	1,458	1,273	1,164	1,198	1,248	1,295
	一般会計繰入金等	2	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国庫補助金	697	1,085	1,691	737	1,159	1,224	1,465	1,285	1,532	1,491	1,517	1,276	1,170	1,205	1,255	1,302
	その他	9	17	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	支出	5,043	5,844	6,999	5,074	5,668	5,533	5,825	5,103	5,264	4,767	4,560	3,967	3,696	3,697	3,745	3,809
	建設改良費	1,331	2,114	3,340	1,559	2,284	2,352	2,843	2,536	3,002	2,896	2,965	2,546	2,334	2,404	2,503	2,597
	企業債償還金	3,712	3,730	3,659	3,515	3,384	3,182	2,982	2,567	2,262	1,872	1,595	1,422	1,362	1,293	1,242	1,212
	収支過不足額	△ 2,404	△ 2,606	△ 2,598	△ 2,601	△ 2,680	△ 2,755	△ 2,768	△ 2,527	△ 2,232	△ 1,854	△ 1,584	△ 1,418	△ 1,361	△ 1,293	△ 1,242	△ 1,212

補てん財源	使用額	2,404	2,606	2,598	2,601	2,680	2,755	2,768	2,527	2,232	1,854	1,584	1,418	1,361	1,293	1,242	1,212
	翌年度繰越額	1,790	1,356	1,355	1,432	1,565	1,587	1,602	1,518	1,434	1,487	1,637	1,811	1,969	2,132	2,288	2,420

企業債残高		39,391	37,781	36,838	35,063	33,511	31,886	30,498	29,223	28,461	28,012	27,875	27,726	27,528	27,433	27,439	27,522
現金預金残高		3,245	2,936	2,559	2,475	3,066	3,149	3,262	2,989	3,264	3,277	3,458	3,404	3,469	3,693	3,914	4,101

※端数処理の都合上、合計が一致していない場合がある。